

～保険代理店に求められるRMの知識～

19

リスクマネジメント実践講座

ARICEホールディングスグループ

http://www.arice-aip.co.jp 株式会社A.I.P 代表取締役 松本 一成

◆株式会社A.I.P

平成20年7月に営業を開始し、リスクマネジメントを基本とした法人マーケット開拓と支店制度に基づいた仲間作りを推進して業容を拡大している。現在は全国に19支店、2法人営業部、5オフィスを持ち、損害保険約20億、生命保険約25億の取扱いを行う。2010年4月にはリスクマネジメントのコンサルティング及び教育・研修事業等も視野に入れた総合的な組織体としてARICEホールディングス株式会社を設立、理念を共有できる代理店と積極的にノウハウやシステム、及びブランドの共有を進めている。

第19回 組織状況の確定②(5.3)

1. リスクマネジメントプロセス状況の確定(5.3.4)

「リスクマネジメントプロセス状況の確定」とは、組織の内部及び外部の状況や組織及び組織の目的達成に影響を与えるリスクに対して適切なリスクマネジメント活動を実践するために考慮すべき要素や決めておくべき事項を規定しておくことです。

リスクマネジメント活動は組織全体の目的達成の手段であり、リスクマネジメントを徹底することが目的ではありません。そのため、組織全体や各部門の目的や戦略等についてしっかり認識し、それらの達成を阻害するリスクに対してどの程度の資源(コスト)を費やすのが妥当かについて考慮しながら実施する必要があります。

リスクマネジメントが適切に実施されるためには、どれだけの資源が必要で、誰が責任と権限を有し、どのような記録を残していくべきなのかについても規定することが求められています。

2. リスクマネジメントプロセス状況とは?

リスクマネジメントは実施の決定をすれば進むようなものではありません。計画通りに推進され、効果的・効率的に実施していくためには、組織内の状況を考慮し、目的やルールやスケジュールに基づいて、責任者や担当者を決めて役割分担を行いながら進めていく必要があります。具体的なリスクマネジメントプロセス状況は組織によって異なりますが、一般的には以下のような事項が含まれます。(図参照)

1) リスクマネジメントの活動について到達目標及び目的を規定する。

⇒リスクマネジメントの実施にコストをかける以上、相応の価値を生み出す必要があります。

リスクマネジメントプロセス状況の確定

リスクマネジメントプロセス状況の確定とは、全社的な目的や目標から各リスク毎の対策目標に落とし込み、それらを通切りに実践していくために定めておくべき事項を規定することです。

全社的なリスクマネジメントの実施に関する目的・目標・責任者等の設定

個別リスクのプロセス状況(労災の場合)

プロセス状況	規定内容の概要(例)
1) 目標、2) 責任者	労災事故を年間20件に減少させる。責任者:安全管理部長
3) 適用範囲・活動	本社・営業所以外の工場において、作業員の安全管理活動を実施する。
4) 時期・場所の観点	4月までに本部で対策計画を作成し、6月から12月にA工場で実施する。
5) 他の活動との関係	労災は民事賠償に繋がる事例が増えており、行政処分の可能性もある。
6) アセスメントの方法論	リスク特定はチェックリスト法、分析はFTA法、評価はマトリクスを使う。
7) 運用管理の評価	評価はA～Dの4段階評価とし、パフォーマンスと有効性を評価する。
8) 下すべき意思決定	安全管理者は5月までにアセスメントを通して取るべき対策を決定する。
9) 必要な調査	アセスメント精度を高めるため20年分の事故データ分析を実施する。

す。そのために具体的な目的や目標を掲げ、その達成度を見ながらPDCAを回し、効率性や有効性を改善していく必要があります。

2) リスクマネジメントプロセスに関する責任及び各部門やリスクマネジメントプロセス内の責任を規定する。

⇒リスクマネジメントプロセスの推進及び個々のリスク対策の実施に関わる責任者及び責任について明確化しておく必要があります。

3) 実行すべきリスクマネジメントの活動の適用範囲とともに、特有の盛り込む活動と除外する活動を含めて、深さ及び広がり規定する。

⇒リスクマネジメントを実施するリスクの範囲を規定し、特定のリスクに対するリスクマネジメント活動を全社的に取り組むのか? 特定の部署や人員にて行うのか? 実施すべき活動としない活動等を規定することが必要です。

4) 活動、プロセス、機能、プロジェクト、製品、サービスまたは資産について、時期及び場所の観点から特定する。

⇒いつ、どこでリスクマネジメントの対象となる活動やプロセスが行われていて、リスクマネジメント活動をいつ、どこで実施するのか? 守るべき資産等はどの時点でどこに存在し、いつ、どこで対策を実施するのかを明確にする必要があります。

5) ある特定のプロジェクト、プロセスまたは活動と組織内のその他のプロジェクト、プロセス、活動との関係を規定する。

⇒組織内の複数のプロジェクトやプロセス、活動の関連性を理解していなければ、リスクの連鎖やリスク対策が複数のプロジェクト等に有効に機能するケースが想定できず、適切なリスクマネジメント活動が難しくなります。

6) リスクアセスメントの方法論を規定する。

⇒同じリスクに対して、部署ごと、責任者ごとにリスクアセスメントの方法が異なると導き出す答えに整合性がなく、全社的なアセスメント結果を導けないため、リスクアセスメントの方法についても予め規定しておく必要があります。

7) リスクの運用管理におけるパフォーマンス及び有効性を評価する方法を規定する。

⇒リスクマネジメントは実施して終わりではなく、計画に対しての実施状況(パフォーマンス)と目的や目標に対する効果や達成度(有効性)を確認して評価を行う必要があり、そのために評価の方法や基準を予め定めておくことが重要です。

8) 下すべき意思決定を特定し、規定する。

⇒リスクマネジメントは100%の答えが無い、意思決定(決断)のプロセスです。一般的にリスクアセスメントではリスク特定で対象とするリスクを決定し、分析で影響度を決定し、リスク評価では優先順位を決定しますが、いつどのような意思決定をすべきかを規定することが必要です。

9) 必要な調査、その程度及び目的、並びにこのような調査で必要となる資源の特定、範囲設定または枠組み設定を行う。

⇒リスクマネジメントを実施する上で必要となる調査やその目的、その調査に必要となる資源(コスト)等について規定することが必要です。

3. 保険代理店の役割

保険代理店はリスクに関わる専門家として、上記のような様々なリスクマネジメントプロセス状況を確定していくためのコンサルティングを行うことが求められます。

リスクマネジメントプロセスを実施していく上で予め確定しておかなくてはならないものは何なのかについてしっかりと経営者に理解して頂くと共に、それらを適切に考慮し、決定していくために必要な視点や考え方を伝えていくことによって、会社自体が適切に自社でリスクの特定や分析を行うことができるようになり、それが私たちの適正提案の基礎データとなっていきます。適切な保険提案の前提となるリスク量やリスク対策の優先順位を導き出すためにはリスクマネジメントプロセス状況を適切に確定することが必要不可欠であり、保険代理店はそのフォローをしっかりと行っていくことによってよりレベルの高い提案を実現していくことが必要となるでしょう。

参考文献: IS031000:2009 リスクマネジメント 解説と適用ガイド 日本規格協会

初めての確定申告、「なんでも経費に」で失敗

(株)マネーフォワードが専門家対象にアンケート調査

初心者が判断しにくいのは「資産譲渡」や「自家消費」

お金のプラットフォームを提供する株式会社マネーフォワード(東京都港区)は、2月16日から始まる確定申告を前に、会計事務所働く会計士・税理士・職員120名を対象に、「初めての確定申告に関するアンケート調査」を実施した。それによると、確定申告初心者がつまづきやすいポイントとして、半数以上の専門家が「すべての領収書を経費に含めてしまう」点を挙げている。今回はこの主な調査結果を紹介する。

◆初めて確定申告をする人が陥りやすいミス(回答数378)

初めて確定申告をする人が陥りやすいミスとして、「すべての領収書を経費に含めてしまう」が68票(57%)で1位になった。本来経費に含めるべきではないプライベートの食事代やタクシー代、備品など、事業以外で使ったものもすべて経費に含めてしまうケースがあるという。また、「領収書やレシートの保管を怠る」が52票(43%)で2位に。領収書やレシートを紛失してしまうと、経費計上ができなくなってしまうので、注意が必要だ。そして、3位には、48票(40%)で「自分が確定申告をすべきかどうか分からない」が選ばれた。確定申告すべきなのにしていない場合は、脱税になってしまうので、注意しなければならない。

◆初めて確定申告をする際に、事前にやっておくべきこと(回答数370)

初めて確定申告をする人への事前準備のアドバイスとして、8割以上の99名が「領収書やレシートを保管する」ことを挙げた。また、半数以上が「早めに税理士に依頼する」と回答し、約半数の58名が「そもそも確定申告をする必要があるか把握する」と回答した。

申告漏れや記入ミスがあると税務調査や追徴の対象になる可能性もある。不明点がある場合は早めに「税理士に相談する」ことが大切とアドバイスしている。

◆初心者と判断しにくい項目(回答数400)

初心者が判断しにくい項目として「資産譲渡の申告」と回答した専門家が半数を超えた。譲渡所得の区分、総合譲渡か分離譲渡か、取得原価不明の場合の申告などは知識がないと判断しにくい項目であるとしている。また、2位は49票(41%)で「自家消費」という結果に。「自家消費」とは、事業で販売している商品を家庭で利用する場合や会社に贈与した場合の売上計上のことを指す。また、3票差の46票(38%)で3位になったのは「家事按分」で、これは、自宅で事業を行う場合や、自家用車を事業でも使用する場合等に、事業とプライベートで適切な割合で経費を計上することを指す。4位にも「経費の計上」が選ばれたことより、経費計上や特殊な売上計上には、専門的な知識が必要になるとしている。

◆今年度、確定申告をするにあたり最も注意すべき点

知ってトクする -851-

税務情報



(回答数167)

今年度の確定申告で注意すべき点として、4割以上の専門家が「ふるさと納税の扱い」と回答した。2位以下は、「財産債務調書の作成」(41%)、「公的年金等の確定申告不要制度の一部改正」(18%)、「所得税率の見直し」(11%)、「国外転出時課税制度の創設」(同)となっている。

◆今年初めて確定申告をする人向けのアドバイス(自由回答)

- 事前準備が全て!
- 2月中に終わらせることを目標に動くこと
- 確定申告は自社の経営を振り返るいい機会。ぜひ専門家を活用して節税のみならず盤石な経営を!
- 領収書の整理をためないこと
- 1年に1回でまとめて計算をして確定申告するより、毎月計算(会計)する人の事業の方が速く伸びる(大きくなる)。
- 売上と経費の計上のタイミングに要注意。仕事が完了していれば入金なくても売上、12月31日までに支払ってなくても経費である。入金、出金ベースではない
- 金額の大きいものを購入した場合は、その年で一気に経費にできない
- 会計帳簿は申告のために行うのではない。経営に活かすため